

コロナ感染

大阪・京都・兵庫・愛知・岐阜・栃木・福岡 7府県に緊急事態宣言が発令されました！

政府は13日夜、新型コロナウイルスの感染者が急増している7府県に対し、特別措置法に基づく緊急事態宣言を発令しました。実施期間は今のところ2月7日までの25日間です。文部科学省は感染症の専門家の意見を踏まえ、緊急事態宣言に伴う小中学校や高校などの一斉休校は要請しない方針です。その理由として、これまでの感染状況から、学校が地域に感染を拡大させる要因にはなっていないことや、学校のみを休校とすることは子どもの健やかな学びや心身への影響が大きいことを挙げています。そのうえで、学びを保障する観点から、児童・生徒や教職員に感染者が1人発生したことだけをもって、学校全体を休校とすることは控えてほしいと要請しています。また、今回の緊急事態宣言を受け、大阪府は独自基準「大阪モデル」も宣言に合わせて「赤信号2」としました。

緊急事態宣言にともなう大阪府の主な措置

○営業時間短縮を要請（午前5時～午後8時、酒類提供は午前11時～午後7時）

対象：飲食店、喫茶店、カラオケBOXなど

○営業時間短縮の協力依頼（同上）

対象：運動施設、図書館、美術館、博物館、映画館、遊技場、演芸場など

○イベント開催への要請

集客人数は5,000人まで。屋内は収容率50%以下、屋外では人と人との距離を十分に確保する。

新年会や賀詞交歓会などは自粛

◎府教育委員会の対応

府立学校（府立高等学校、府立支援学校、府立中学校）の臨時休業及び分散登校はせず通常授業を続ける。

※2～3月の入試日程については変更なし

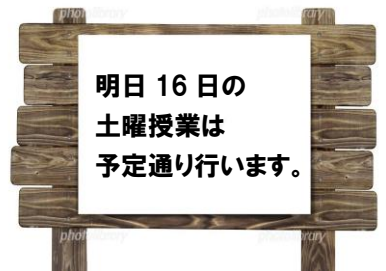
※小中学校を管轄する市町村教育委員会にも、通常授業の継続を求める方針

（13日付け朝日新聞より）

◆緊急事態宣言下の枚方市立小中学校の教育活動について（市教委ブログより）

昨今の大阪府や本市における新型コロナウイルス感染症拡大の現状に鑑み、子どもたちの通常の教育活動の場に、多くの人々が接触するという事を避ける観点から、1月31日（日曜日）まで授業参観等を中止としておりました。

令和3年1月14日（木曜日）から2月7日（日曜日）の間、大阪府に「緊急事態宣言」が発令されたことを受け、枚方市のコロナ対策本部会議において、2月7日（日曜日）まで、引き続き、延長して授業参観等を中止することに加えて、新たに、府県間の移動を伴う校外活動の中止、部活動における練習試合や合同練習を禁止することとなりましたのでお知らせします。



令和2年度就学援助に係る特別事情の取り扱いについて

表題の件については、今年度初めにプリントでお知らせしていますが、対象期間の締め切りが迫ってきましたので改めてこの通信でお知らせします。

【内 容】新型コロナウイルス感染症の影響で収入が減少した事により、経済的に生活が困窮され、就学が困難な児童生徒の保護者が就学援助費受給申請をした際は、就学援助の審査において特別事情として取り扱います。

【対象期間】令和2年6月1日から令和3年2月28日までの申請

【審査方法】申請月の前月以前の6か月分を1年間の収入に換算したみなし所得が、令和2年度就学援助認定基準額以下であること。

【そ の 他】申請の書類、方法、場所等、詳しいことは直接下記までお問い合わせください。

問い合わせ先：枚方市教育委員会 教育支援推進室（学事保健担当）
枚方市車塚1丁目1番1号（輝きプラザきらら内）
電話 050-7105-8044

1・2年生で大阪府の「チャレンジテスト」が行われました。

13日（水）に1・2年生のチャレンジテストが行われました。今年度6月の3年生のチャレンジテストは「新型コロナウイルス感染症にかかる状況及び学校教育への影響等を考慮し、大阪府として実施しない。」となりましたが、1・2年生は府内全中学校で一斉で行われました。

今回から評定への補正方法が変更となり、所謂「団体戦」となります。各教室で懸命にテストに取り組む姿が印象的でした。



2年生



1年生

「チャレンジテスト」とは、大阪府が2015年から本格的に導入した中学生向けの大阪府統一実力テストです。大阪府の公立高校を受験する際の評定（いわゆる内申点）を補正する目的で実施されています。1年生は国語・数学・英語の3科目、2・3年生は国語・数学・英語・理科・社会の5科目のテストを行いました。

これまで中学1・2年生の評定は、チャレンジテストの個人成績で補正がされていたことから「個人戦」、中学3年生は学校平均によって補正がされていたことから「団体戦」とも呼ばれていました。しかし、個人戦の中学1・2年生の制度に関しては、良くも悪くもたった一回のテストで評価が変わってしまうという点と、「休んだ生徒への対応」にバラツキがあるという点で、生徒・保護者・教員から不満や困惑の声が広がっていました。さらに、「そもそも学年によって制度が変わるのは分かりづらい！」という声も挙がっており、このような声を受けて、大阪府教育委員会は令和2年度から全学年のチャレンジテストを団体戦方式に統一すると発表し、中学1・2年生評定の補正は今回から学校平均で行う「団体戦」となりました。

1・2年生がチャレンジテストに臨んでいる時、3年生あるクラスの女子は体育の授業で長距離走を行っていました。また、今日は7時間授業です……。
(テストとどっちがいいのかな?)

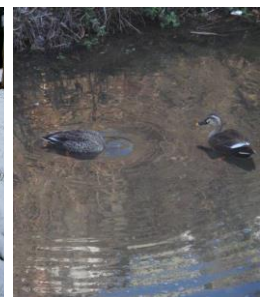
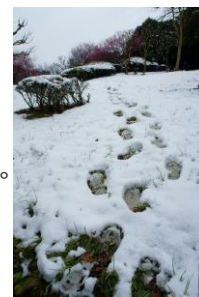


12日は大阪の平野部でもうっすらと雪が積もりました。

3連休最後の11日に九州の南に低気圧が発生し、発達しながら本州の南を進んだため、12日（火）は九州から関東の太平洋側にかけて山沿いを中心に雪が降り、奈良で4センチの積雪、京都市内もうっすらと積雪、枚方市内でも学校の芝生や運動場が雪で真っ白になりました。過去にも太平洋側に大雪をもたらした「南岸低気圧」だそうです。強い寒気の影響で空気が冷えきっているため、各地で雪が降り積もったようです。枚方市内に積もった雪は昼前には溶けてなくなりましたが、13日朝は再び冷え込み、前日に溶けた雪が凍って道路が凍結した所もあったようですが、昼には日が射して気温が上昇しました。

私は日頃スクーターで通勤しており、12日朝は「何とかかなりそうだ！」とゆっくり家を出ましたが、最初の信号でブレーキをかけたところで車体が180°回転し、危なく転倒しそうになりました。「とても長尾までは無理」と判断し、河内磐船駅の駐輪場にスクーターを停め電車に乗り換えました。

13日朝は何とかスクーターで学校まで来る事ができましたが、学校北側八田川沿いの道路は所々凍結しており、一部表面が凍った川を水鳥たちが悠々と泳いでいました。



～体温を上げて免疫力をUPさせよう～ (エイジフリーだより 冬号より)

体温が1℃下がると免疫力が大きく下がると言われています。体温が下がって血流が滞ると、免疫力を司っている白血球の動きや働きが悪くなってしまうのが原因です。様々な生活習慣の影響により、現代人は体温が36℃より低い「低体温」の人が少なくありません。ウイルスに負けない体づくりのために、まずは、体を暖かく保つことから始めてみましょう。また、この冬は全国的にインフルエンザの流行が非常に少ないそうです。コロナ対策のマスクや手洗いが、インフルエンザウイルスの感染も防いでいるようです。

●入浴

1日1回、お風呂に入って体温を1℃上げます。

●白湯を飲む

夜寝る前に白湯を飲むことで体が温まります。

●腹巻、カイロ、湯たんぽ

これらを利用して体を冷やさないようにしましょう。

●運動

毎日適当な運動をすることで体温を上昇させましょう。

